

平和のために

渡慶次小学校

六年

新垣

羽峯

私は、平和とは、争いや戦争がなく、だれもが安心して暮らせることか、平和だと思います。

沖縄では、今から八十年前に沖縄戦がありました。沖縄戦について、話は、聞いたことかあります。沖縄戦では、日本の側の死者、行方不明者は十八万八千百三十六人、たもおよぶそうです。その内、沖縄出身者は

十二万二千二百二十八人いてその内、民間人は、九万四千人だそうです。戦争についてこの話を聞いて、戦争は、なにもしていないのに無意味に命をうばわるからもう戦争はしてはいけないと思いました。

学校でも、平和教育があり、戦争について学びました。チビチリカマ見学では、チビチリカマであつたことを小稽川さんかお話をしました。チビチリカマ見学で学んだことは、チビチリカマには、約百四十名かひなんして

いこ、その内、八十三名が集団自決でなくな
り、二名が、米軍にこうげきしやうとして、
なくなりました。チビチリがマデ、このよう
なことかなぜあつたのかと言うと、当時の日
本の教育や、軍官民生死の一体化があつた
からだと学びました。一方シムクがマは、ひ
なんしていた人たち全員が助がつたと学びま
した。

現代の日本では、戦争はありません。しか
し、海外では、二千二十二年二月二十四日に
ロシアが、ウクライナへ軍事侵攻を開始し、
ウクライナ戦争が始まりました。ウクライナ
戦争は、いまも続いているそうです。

戦争があると、一生消えない心の傷をおう
と思います。

では、戦争のない世の中にするためには、
互にか互いを尊重し合い、お互いに良い所や
悪い所を認め合うということをしたらいいと
思います。

私たちが今できることは、少しでも、周り

の人たちに、思いやりの心をもつて接するこ
とを心掛けていきたいです。